

五泉市
1人1台端末の利活用に係る計画

令和7年3月31日

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICT環境と、これまで五泉市が培ってきた聴き合う関係性を大切に学習環境とを融合させることで、「見通しをもって学ぶ中で、思考力、判断力、表現力などを活用・発揮しながら知識や技能を獲得する子ども」の姿を目指す。

2. GIGA第1期の総括

五泉市立小中学校は、学習系ネットワーク・無線LAN環境、及び児童生徒の1人1台端末の整備を、令和2年度中に完了した。
また、GIGA第1期の整備を受けてICT活用実践推進指定校制度を設け、各教科等における資質・能力と情報活用能力の育成、各教科等や特別支援教育におけるICTを活用した指導方法の開発、教員のICT活用指導力の向上を図ってきた。
ICT環境の整備や上述の取組により、端末やクラウド環境を活用して学習する児童生徒の様子や授業が、日常的に見られるようになってきている。
今後は、GIGAスクール構想の実現に向けてネットワークアセスメントを行い、課題を明確にした上で改善対応を実施するなどし、学校規模に応じて端末を十分に利活用できる帯域の確保が求められる。また、学校間や教員間で意識やスキル、校務のデジタル化に差が見られることから、教員のICT活用力（指導力含む）の更なる向上が必要である。

3. 1人1台端末の利活用方策

前項1「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」の実現のため、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。
なお、整備・更新した端末は、以下のような利活用を行う。

項目	K P I	現状値⇒目標値	方策
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	全国 : 73.0% (R4) ⇒100% (R6) 五泉市 : 76.2% (R4) ⇒100% (R6)	研修のニーズの把握、広報活動の充実
	情報通信技術支援員 (ICT支援員) の配置	全国 : 5.7校/人 (R3) ⇒4校/人 (R7) 五泉市 : 6.5校/人 (R3) ⇒4校/人 (R7)	ICT支援員配置拡充のための予算確保
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	全国 : 小90.6% (R5) ⇒100% (R6) 中86.5% (R5) ⇒100% (R6) 五泉市 : 小100% (R5) ⇒100% (R6) 中75% (R5) ⇒100% (R6)	端末活用事例の共有
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	全国 : 40.5% (R4) ⇒100% (R10) 五泉市 : 36.8% (R4) ⇒100% (R10)	デジタル教科書の活用事例の共有
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小44.9% (R5) ⇒80% (R8) 中36.1% (R5) ⇒80% (R8) 五泉市 : 小33.3% (R5) ⇒88.9% (R8) 中75% (R5) ⇒100% (R8)	各校の端末稼働状況のモニタリング、端末の活用状況を各校へフィードバック
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小46.0% (R5) ⇒80% (R8) 中44.4% (R5) ⇒80% (R8) 五泉市 : 小33.3% (R5) ⇒100% (R8) 中75% (R5) ⇒100% (R8)	
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小40.2% (R5) ⇒80% (R8) 中34.1% (R5) ⇒80% (R8) 五泉市 : 小33.3% (R5) ⇒88.9% (R8) 中50% (R5) ⇒100% (R8)	
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校	全国 : 今後把握 ⇒100% (R8) 五泉市 : 85% (R6) ⇒100% (R8)	第1期整備端末の有効活用及び第2期整備予備機の活用 端末活用事例・方法の共有
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校	全国 : 今後把握 ⇒100% (R8) 五泉市 : 62% (R6) ⇒100% (R8)	
	障害のある児童生徒や病氣療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校	全国 : 今後把握 ⇒100% (R8) 五泉市 : 92% (R6) ⇒100% (R8)	